

2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2019年11月8日

上場会社名 アグロ カネショウ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4955 URL <http://www.agrokanesho.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫛引 博敬
 問合せ先責任者(役職名) 経理部統括部長 (氏名) 高橋 克幸 (TEL) 03 (5570) 4711
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	10,856	△8.8	980	△47.1	983	△47.6	737	△37.2
2018年12月期第3四半期	11,905	3.0	1,853	2.3	1,877	4.4	1,174	△31.5

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 306百万円(△73.2%) 2018年12月期第3四半期 1,142百万円(△57.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	58.35	—
2018年12月期第3四半期	92.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	29,629	21,433	62.4
2018年12月期	30,429	21,625	60.3

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 18,483百万円 2018年12月期 18,337百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2019年12月期	—	10.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	12.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,848	△3.7	1,107	△48.7	1,175	△45.6	783	△39.8	61.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	13,404,862株	2018年12月期	13,404,862株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	707,264株	2018年12月期	735,464株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	12,638,875株	2018年12月期3Q	12,635,941株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料の発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

国内農業は、農業生産者の減少および高齢化が進んでいる一方で、大規模生産者や農業法人の増加など農業生産構造の変化が現れてきております。加えて、昨年に引き続き、台風や大雨が農業へ大きな被害をもたらすなど、国内農業は大変厳しい状況となっております。直近では、台風15号・19号の襲来により、東海から東北にかけて、農業に大きな被害をもたらしております。このような中、国内農薬業界におきましては、2020年4月に農薬取締法の一部改正が予定されており、今後一層、農薬の安全性の向上が要求されるようになってきております。また、世界農薬市場におきましては、海外大手農薬メーカーの再編が進展しており、国内外での農薬市場への影響が現れております。

このような情勢の中で当社グループは、経営理念である「我が信条」（お客様のため、社員のため、社会のため、株主のためという4か条）ならびに「どこまでも農家とともに」をモットーとして研究開発・技術普及・生産・販売を展開しております。そして100年企業を目指すために、「Lead The Way 2025」をスローガンとした長期事業計画とともに、新中期事業計画(2019年～2021年)を策定し「飛躍のための加速期間」をテーマとして取り組んでおります。

研究開発部門では、創薬のための研究開発を継続するために組織力の増強と研究レベルの向上をはかり、ポートフォリオの充実と拡大に努めております。

生産部門では、昨年2018年11月1日に山口工場を新設しました。新工場は、東京電力福島第一原子力発電所の事故により操業停止となりました福島工場に代わる生産拠点であり、茨城工場・直江津工場と併せて、自社生産体制の向上に努めております。また、西日本の物流拠点としての機能を持ち、関東の所沢事業所物流倉庫と併せて、製品の供給体制の強化に努めております。

営業技術普及部門では、農業生産者への適切な技術情報の提供に加えて、土壌分析室を活用し、農業の根幹となる土づくり、土壌のセンチュウ対策、病害虫診断の支援活動を拡大しています。さらに、グローバルGAP認定取得支援ならびに地域の農業・栽培問題解決のための研究実践農場（カネショウ・ファーム）の運営を開始し、これらのサービス提供により地域農業や農業生産者への貢献に努めております。

また、2018年12月に株式会社KANESHO CHPを設立し、Dow Agrosciences LLCが日本及び韓国で展開していたクロルピリホス剤の営業権を取得し、販売を開始しております。

当第3四半期連結累計期間においては、土壌消毒剤の第2四半期累計期間までの売上が伸びなかったこと等により売上が減少し、山口工場の減価償却負担により売上原価が増加しております。また、のれんの償却負担と研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は108億5千6百万円（前年同四半期比10億4千9百万円の減少、前年同四半期比8.8%減）、営業利益は9億8千万円（前年同四半期比8億7千3百万円の減少、前年同四半期比47.1%減）、経常利益は9億8千3百万円（前年同四半期比8億9千3百万円の減少、前年同四半期比47.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億3千7百万円（前年同四半期比4億3千6百万円の減少、前年同四半期比37.2%減）となりました。

なお、当社グループの売上高は事業の性質上、業績に季節の変動があり、第1四半期及び第2四半期連結会計期間の売上高が他の四半期連結会計期間と比較して多くなる傾向にあります。また、研究開発費は他の四半期連結会計期間と比較して第4四半期連結会計期間に多く計上される傾向にあります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は296億2千9百万円（前連結会計年度比7億9千9百万円の減少、前連結会計年度比2.6%減）となりました。これは主に流動資産の内、売上債権が3億1千2百万円、たな卸資産が1億8千9百万円、その他が4千9百万円増加する一方、現金及び預金が6億8千5百万円が減少したことにより、流動資産が前連結会計年度比1億3千4百万円減少し、固定資産の内、繰延税金資産が1億6千4百万円増加する一方、有形無形固定資産が6億4百万円、長期預金が2億2千万円減少したことにより、固定資産が前連結会計年度比6億6千5百万円減少したことによるものであります。

(負債及び純資産)

当第3四半期連結会計期間末における負債は81億9千6百万円(前連結会計年度比6億7百万円の減少、前連結会計年度比6.9%減)となりました。これは主に支払手形及び買掛金が4億1千9百万円、流動負債のその他が3千3百万円、山口工場建設のための借入返済で、長期借入金2億8千3百万円が減少したことによるものです。純資産は214億3千3百万円となりました。その結果、自己資本比率は62.4%、1株当たり純資産額は1,449円30銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の経済環境予想等に基づいて予測し作成したものであり、リスクや不確定要素が含まれております。

従いまして、実際の業績は、当社グループを取り巻く経済情勢、市場動向、競合状況等、今後様々な要因によって、記載の金額の予想数値と異なる可能性がありますのでご承知おきください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,132,212	11,446,480
受取手形及び売掛金	4,462,507	4,124,369
電子記録債権	—	650,695
商品及び製品	2,642,673	2,050,371
仕掛品	136,914	188,949
原材料及び貯蔵品	1,405,193	2,135,041
その他	779,613	829,038
貸倒引当金	△435	△394
流動資産合計	21,558,678	21,424,553
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,871,317	2,766,800
機械装置及び運搬具（純額）	1,339,035	1,086,420
土地	1,808,782	1,808,782
その他（純額）	96,621	116,260
有形固定資産合計	6,115,756	5,778,262
無形固定資産		
のれん	1,902,055	1,638,608
その他	22,922	18,995
無形固定資産合計	1,924,977	1,657,603
投資その他の資産		
投資有価証券	112,828	107,392
長期預金	220,000	—
繰延税金資産	323,412	488,016
その他	200,256	200,897
貸倒引当金	△26,800	△26,800
投資その他の資産合計	829,697	769,506
固定資産合計	8,870,432	8,205,373
資産合計	30,429,110	29,629,927
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,875,594	1,456,406
1年内返済予定の長期借入金	389,316	390,441
未払法人税等	303,156	288,570
賞与引当金	47,703	166,357
その他	1,548,983	1,515,471
流動負債合計	4,164,753	3,817,246
固定負債		
長期借入金	2,971,476	2,686,520
退職給付に係る負債	376,271	384,344
役員株式給付引当金	48,611	58,757
長期未払金	523,542	499,942
その他	719,220	750,003
固定負債合計	4,639,121	4,379,567
負債合計	8,803,874	8,196,814
純資産の部		

株主資本		
資本金	1,809,177	1,809,177
資本剰余金	2,145,076	2,167,511
利益剰余金	15,016,705	15,477,666
自己株式	△549,915	△564,257
株主資本合計	18,421,044	18,890,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42,083	38,304
為替換算調整勘定	△66,363	△417,719
退職給付に係る調整累計額	△59,221	△26,690
その他の包括利益累計額合計	△83,500	△406,105
非支配株主持分	3,287,692	2,949,120
純資産合計	21,625,235	21,433,112
負債純資産合計	30,429,110	29,629,927

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	11,905,476	10,856,345
売上原価	7,002,957	6,484,379
売上総利益	4,902,519	4,371,966
販売費及び一般管理費	3,048,672	3,391,592
営業利益	1,853,846	980,373
営業外収益		
受取利息及び配当金	4,277	3,761
受取地代家賃	11,762	11,865
為替差益	20,302	—
受取保険金	—	13,085
情報提供料収入	—	60,440
その他	3,491	10,365
営業外収益合計	39,834	99,518
営業外費用		
支払利息	5,903	14,854
為替差損	—	78,477
支払手数料	7,238	2,562
その他	3,188	509
営業外費用合計	16,330	96,404
経常利益	1,877,350	983,487
特別利益		
投資有価証券売却益	59,000	—
受取補償金	—	46,338
補助金収入	—	168,265
特別利益合計	59,000	214,603
税金等調整前四半期純利益	1,936,350	1,198,091
法人税、住民税及び事業税	704,802	474,253
法人税等調整額	△131,150	△137,698
法人税等合計	573,652	336,555
四半期純利益	1,362,698	861,535
非支配株主に帰属する四半期純利益	188,437	124,018
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,174,261	737,517

四半期連結包括利益計算書
第3 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,362,698	861,535
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33,819	△3,779
為替換算調整勘定	△181,139	△583,765
退職給付に係る調整額	△4,848	32,531
その他の包括利益合計	△219,807	△555,014
四半期包括利益	1,142,891	306,521
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,026,810	414,912
非支配株主に係る四半期包括利益	116,080	△108,390

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、農薬の製造、販売事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。